

# 平成30年度北海道虻田高等学校 自己評価及び学校関係者評価書

## ●学校教育目標

- 1 知性を高め、自ら学ぶ力を育てる。
- 2 情操を豊かにし、思いやりの心を育てる。
- 3 心身ともに鍛え、実践する力を育てる。

## ●重点目標

- 目標に向かって、心豊かに、ともに支え合い、たくましく、主体的に行動できる生徒を育てる。
- (1) 個性と創造性を伸ばすとともに、自ら学ぶ心を持った生徒を育てる。
  - (2) 礼儀正しい生活習慣の定着とともに、奉仕の心を持った生徒を育てる。
  - (3) 社会の変化に主体的に対応し、自己実現を図る意欲と能力を育てるとともに、自立の精神に溢れ、社会的責任を果たす心を持った生徒を育てる。
  - (4) 何事にも積極的に参加し、困難に打ち克つ健康な身体と生命を尊ぶ心を持った生徒を育てる。

## 自己評価

自己評価の評価基準 A：そう思う B：どちらかといえばそう思う  
C：どちらかといえばそう思わない D：そう思わない

### ①学校経営

※数字は(%)で表示(以下同じ)  
上段：今年度 下段：昨年度

領域	評価項目	A	B	C	D	改善策
学	学校教育目標は生徒の実態や保護者、地域住民の願いを反映させている	21	43	21	14	・学校だより(全12回)の発行と町内回覧板での回覧の継続。新聞広告への掲載と、学校PRパンフレットの発行。 ・PTAだより(全3回)の発行の継続。
		15%	46%	38%	0%	
校	学校の教育方針や教育活動について、保護者や地域住民へ積極的に情報提供している	21	57	21	0	・学校ホームページの更新。 ・朝の職員打合せの有効活用。
		23%	38%	38%	0%	
営	全ての教員が共通理解に基づき協力して教育活動を進めている	7	57	29	7	
		15%	31%	54%	0%	

## 学校関係者評価 [学校評議員及びPTA役員]

学校関係者評価基準 4：たいへんよい 3：よい 2：やや不十分 1：不十分

### ①学校経営

自己評価の適切さ	3.2	<b>学校関係者評価者の意見</b> ・学校経営に関して評価している。給食など町からの支援は魅力的であるが、教育活動の特色や魅力を有効的にPRすべきである。 ・新聞広告の実施や学校ホームページの更新頻度が増し、積極的に情報提供が行われている。 ・学校通信は、公共施設や銀行などに置いてほしい。 ・学校通信、PRパンフレットは、誰に向けたものかわかりづらい。中学生向けには、フェイスブックやツイッターの活用も検討すべきである。
改善策の適切さ	2.8	

### ②教育課程(課題)

- ・新学習指導要領の対応・・・・・・・・・・・・・・研修会等の参加促進。
- ・シラバスの有効活用・・・・・・・・・・・・・・完成時期を早める。
- ・成績不振者(スマホゲームによる悪影響)対応・・・・・・・・・・昨年度より実施した「タイムマネジメントシート」等の取組。
- ・生徒数減少による学校行事運営の困難・・・・・・・・・・学校行事の変更等を検討。

領域	評価項目	A	B	C	D	改善策
教	基礎基本の定着を図るために適切な指導を行っている	38	50	14	0	・4年目が終了した遊覧船ガイドを継続発展させるため、運輸局や町、観光協会等との連携体制の構築。 ・新学習指導要領に沿った教育課程に関する校内研修の充実。
		46%	54%	0%	0%	
育	商業に関する学科の特色を活かした教育課程の編成に努めている	29	50	14	7	・主体的対話的で深い学びを通して授業改善を図る校内研修等の充実。
		46%	46%	8%	0%	
課	生徒個々の学習状況に配慮し、わかる授業の実施に努めている	36	57	7	0	
		38%	54%	8%	0%	
程	シラバス等を活用しながら教科指導目標を明確にし学習指導法や評価法等の研修に努めている	14	64	21	0	
		15%	54%	31%	0%	

### ②教育課程

自己評価の適切さ	3.3	<b>学校関係者評価者の意見</b> ・成績不振とスマホゲームとの関連性が気になる。登校後は、スマートフォンを教員に預けるといのはどうか。 ・業者テストの導入は、客観的に自分の学力が判断できるのでよい。 ・遊覧船ガイドや体験的学習を活用し、コミュニケーション能力を育成してほしい。 ・商業の学習が見直されている。仕事に就くには有利である。
改善策の適切さ	3.0	

③研修（現状）

- ・地域連携特例校・協力校連携による遠隔システムを活用した伊達高校校内研修（eポートフェリオ研修）への参加。
- ・地域連携特例校・協力校連携による保健体育科の連携授業、遠隔システムを利用した授業の実施。

領域	評価項目	A	B	C	D	改善策
研修	校内研修は充分に実施している	7 31 %	64 46 %	29 23 %	0 0 %	・各教科で新学習指導要領に関する研修会への参加。
	校内で情報の共有を積極的に実施している	21 31 %	50 46 %	29 8 %	0 15 %	

③研修

自己評価の適切さ	3.0
改善策の適切さ	3.0

学校関係評価者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携協力校と連携した遠隔システムを利用した授業などは、広い世界を体験することによって成長する生徒もいるので、より発展させてほしい。</li> <li>・生徒の数が少ないので、コミュニケーション能力を高めるための工夫が必要である。</li> </ul>
------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

④生徒指導（現状と課題）

- ・特別指導件数 0件
- ・いじめの認知件数は0件であったが、SNS上でのトラブルが散見された。

領域	評価項目	A	B	C	D	改善策
生徒指導	いじめ防止に向けた取組や発生時の対応が適切に行われている。	21 31 %	71 69 %	7 0 %	0 0 %	・携帯電話の使用について、引き続き適切な指導継続。
	生徒の服装、髪型などに対して適切な指導を行っている	29 31 %	64 54 %	7 15 %	0 0 %	
	生徒に基本的な生活習慣が身に付くように適切な指導を行っている	14 31 %	71 69 %	14 0 %	0 0 %	
	生徒指導にあたり十分に保護者と連携をとっている	21 23 %	57 62 %	21 16 %	0 0 %	
	生徒の様々な悩みに対応した適切な指導を行い、親身になって教育相談を行っている	64 46 %	36 54 %	0 0 %	0 0 %	

④生徒指導

自己評価の適切さ	3.5
改善策の適切さ	3.5

学校関係評価者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒アンケート、保護者アンケートの結果から、教員の目が行き届いていると感じる。</li> <li>・身だしなみがきちんとしている生徒が多い。</li> <li>・携帯電話の使用は、ルールを守って、自分で管理できるように指導することが大切であり、そのために保護者の協力も必要である。</li> <li>・コミュニケーション力の不足がSNSのトラブルを招いている。</li> </ul>
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

⑤進路指導（課題）

- ・求人数は多いが、生徒が主体となり進路活動を進めることができなかった。・・・キャリア教育の推進。
- ・進路の適性試験や就職対策基礎学力、作文能力の不足する生徒の増加・・・夏期講習、冬期講習の強化。
- ・早期離職者の増加。

領域	評価項目	A	B	C	D	改善策
進路指導	3カ年を見通した系統的・計画的な進路指導を行っている	57 46 %	36 46 %	7 8 %	0 0 %	・職業説明会について、地域連携協力校（伊達高校）との連携。
	進路実現のため生徒や保護者との面談等を充分に行っている	29 31 %	57 69 %	14 0 %	0 0 %	
	進路に関する情報や資料等が効果的に活用されている	29 31 %	57 69 %	14 0 %	0 0 %	

⑤進路指導

自己評価の適切さ	3.7
改善策の適切さ	3.5

学校関係評価者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の親身になっての指導が、進路結果に現れている。</li> <li>・卒業生の追跡調査を実施し、早期離職の問題を分析すべきである。</li> <li>・早期離職を防ぐためには、部活動への加入を促すべきである。部活動を通して人間関係を学び、メンタル面を鍛えることができる。</li> </ul>
------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

⑥特別活動（課題）

- ・生徒会活動、部活動の活性化・・・・・・・・・・生徒会活動や生徒会行事の見直し。  
部活動の加入率の低下が続いている。部活動の在り方の検討。

領域	評価項目	A	B	C	D	改善策
特別活動	生徒はボランティア活動に積極的に参加している	43 31 %	21 46 %	36 23 %	0 0 %	・生徒数の減少に応じて、生徒会活動や生徒会行事についての内容の精選。
	生徒は学校行事や生徒会活動に積極的に参加し、充実した学校生活になっている	14 23 %	38 62 %	50 15 %	0 0 %	
	モラルについて考えさせたり、社会のルールについて学ぶ機会を適切に設けている	14 31 %	50 46 %	36 23 %	0 0 %	
健康安全	健康管理や安全指導を適切に行っている	29 31 %	50 54 %	21 15 %	0 0 %	・講演会の実施に関して、目的を明確にし、講演内容等の検討。
	生徒は交通安全に心がけ、交通ルールを守って登下校している	43 31 %	43 54 %	14 15 %	0 0 %	
	心や身体の悩みについて相談しやすい環境をつくっている	64 38 %	21 46 %	14 15 %	0 0 %	
その他	施設や設備は充実している	29 31 %	36 54 %	36 15 %	0 0 %	・学び直しを含め、基礎基本の学習を放課後の補習や講習で実施。 ・家庭学習習慣の定着を図るため、タイムマネジメントシートの活用や課題等の実施。
	家庭との連携を積極的に行っている	14 31 %	50 54 %	36 15 %	0 0 %	
	生徒が家庭学習に取り組むような工夫をしている	14 23 %	43 54 %	43 23 %	0 0 %	

⑥特別活動

自己評価の適切さ	3.3
改善策の適切さ	3.3

学校関係評価者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動や学校行事、生徒会活動は、マスコミや町の広報を活用して、地域に周知すべきである。</li> <li>・自分の時間の見直しを図るタイムマネジメントシートの活用はとても良い。</li> <li>・部活動を活性化してほしい。生徒の人数が少なく、部活動で団体競技ができないのならば、協力校の伊達高校と合同チームをつくれぬか。</li> <li>・教職員と地域の方が、コミュニケーションを深め、連携を図ることが大切である。</li> </ul>
------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------